

国語科 2年[論理国語] シラバス

校長	教頭	教頭

科目	単位数	指導学年	使用教科書
論理国語	2単位(70時間)	第2学年	大修館書店『新編 論理国語』
科目の目標	・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		

学期	月	単元名/教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
4	4	第I部 1 論理と出会う	4	【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)ア	・「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 ・これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて考える。	【知識・技能】 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 [(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要旨を把握している。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶことについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	・観察 ・小テスト ・定期テスト
		「論理的な人」とはどういう人か		【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・「論理」についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張をふまえて、これからの学習に興味をもつ。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要旨を把握している。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。	・観察 ・定期テスト
		【フォーカス】「論理」への第一歩		【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)ア	・論理的に考える姿勢を身につけ、論理がなぜ必要なのかを理解する。	【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。 [(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、論理的な考え方や適切な文のつなぎ方を的確にとらえている。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、文や文章の組み立て方、接続のしかたについて理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・学習ノート
5	2	具体と抽象	9	【知・技】 (1)イ (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・具体と抽象の関係について考えを深める。	【知識・技能】 ・具体と抽象の関係を示す語句や表現について理解し使っている。 [(1)イ] ・情報を抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 [(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、具体と抽象の関係を適切に把握しながら、要旨を把握している。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート
		【例題】突然変異と進化の関係		【知・技】 (1)イ (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・具体と抽象を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で具体と抽象の関係をとらえる助けとしている。 [(1)イ] ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 [(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、具体と抽象の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要旨を把握している。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体と抽象の関係を的確にとらえながら、筆者の主張を読み取るうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学月	単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
一 学 期	ウサギの耳はなぜ長い？		【知・技】 (1)イ (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にししながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・共進化についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	・観察 ・小テスト ・ノート ・定期考査
	記号的メディアと物理的メディア		【知・技】 (1)イ (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・具体例の働きを的確にとらえ、具体と抽象の関係についての理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・具体と抽象を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で具体と抽象の関係をとらえる助けとしている。〔(1)イ〕 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、具体と抽象の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にししながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・メディアについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	・観察 ・小テスト
	【フォーカス】具体と抽象を使いこなそう	1	【知・技】 (1)イ (2)イ 【思・判・表】 A(1)イ	・具体と抽象の関係について、理解を深める。 ・内容を具体化してわかりやすくしたり、抽象化してまとめたりする。	【知識・技能】 ・具体と抽象の関係を示す語句や表現について理解し使っている。〔(1)イ〕 ・情報を抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、具体と抽象の関係に注意しながら、文脈に応じた適切な内容をまとめている。〔A(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	6 3 対比をとらえる	9	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・対比の関係について考えを深める。	【知識・技能】 ・対比を示す語句や表現、対比の使い方について理解し使っている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係を的確にとらえ、その効果について、根拠とともに理解している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習課題に取り組み、対比の関係とその効果をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート
	【例題】米の種類と食文化		【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・対比を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で対比の関係をとらえる助けとしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にししながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対比の関係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	対話の精神		【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にししながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとらえようとしている。	・観察 ・小テスト

学期	月	単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等	
	7	デジタル地図から見える世界		【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の關係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル地図についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の關係をとらえようとしている。	・観察 ・小テスト ・定期考査	
		【フォーカス】対比を使って主張する	1	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)イ	・効果的な対比の使い方について、理解を深める。 ・主張を支えるための対比の使い方を考える。	【知識・技能】 ・対比を示す語句や接続表現を、説明したり、主張の根拠を示すために適切に用いている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、対比關係を用いることで物事の特徴や伝えたいことを明確にできることを理解し、物事の説明や主張を支える根拠として適切に表現している。〔A(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、対比の關係について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート	
9 ・ 10	4	主張をつかむ	12	【ウォームアップ】主張と根拠を考える	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・主張と根拠の關係について考えを深める。	【知識・技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との關係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、論理の展開を的確にとらえ、主張と根拠の關係について、理解している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、主張と根拠の關係について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		【例題】文化としての科学		【知・技】 (1)イ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・主張と根拠の關係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との關係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主張と根拠の關係を的確にとらえながら、筆者の考えを読み取るうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
		人工の自然—科学技術時代の今を生きるために		【知・技】 (1)イ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・主張と根拠の關係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との關係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・科学技術についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の關係をとらえようとしている。	・観察 ・小テスト	
		「考える筆」であり続ける		【知・技】 (1)イ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア・ウ	・筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との關係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要旨を把握している。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の關係をとらえようとしている。	・観察 ・小テスト	

学期	月	単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等	
二 学 期	11	【フォーカス】要約の方法		【知・技】 (1)ウ・エ 【思・判・表】 B(1)ア	・文章のキーワードや、主張と根拠の関係を的確にとらえて要約する。	【知識及び技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。[(1)ウ] ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。[(1)エ] 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、主張と根拠の関係を意識し、文章の要旨を正しく把握している。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主張と根拠の関係をとらえながら、文章を要約する学習に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・学習ノート	
		5 論理的に書く一小論文①	根拠をふまえて主張を書こう	8	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)イ	・根拠を明示しながら論理的に主張を書く。 ・接続表現を適切に使って、論理的な文章を書く。	【知識・技能】 ・小論文における、根拠を明確にしながらか主張を論理的に書く方法や、主張と根拠を示す接続表現について理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、根拠とする情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。[A(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文を書くことに興味をもち、適切な根拠を示しながら、自分の主張を展開しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			構成を考えて書こう		【知・技】 (1)ウ・エ 【思・判・表】 A(1)エ	・基本的な小論文の型を理解する。	【知識・技能】 ・小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。[(1)ウ] ・小論文における、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。[(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にし、構成を考えながら書いている。[A(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文を書くことに興味をもち、説得力のある文章を書くための適切な構成のしかたを理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			反論を想定して書こう		【知・技】 (1)ウ・エ 【思・判・表】 A(1)ウ	・反論を想定し、説得力のある小論文を書く。	【知識・技能】 ・小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。[(1)ウ] ・小論文における、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。[(1)エ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して根拠を考え、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫し、説得力のある文章を書いている。[A(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文を書くことに興味をもち、反論やその根拠を想定して、自分の主張を展開しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		文章を磨き上げよう		【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)オ	・推敲の観点を知り、文章を改善する。	【知識・技能】 ・小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたや文章を推敲する上での観点について理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文章を推敲して、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。[A(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章を推敲する学習をとおして、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
	12	6 統計資料を活用する	【ウォームアップ】文章と資料を関連づけて読む	6	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・文章と統計資料の関係について考えを深める。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、文章と資料の関係について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート

学期	月	単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
三 学 期		量の時代から質の時代へ		【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ・統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとらえようとしている。	・観察 ・ノート ・定期考査
		若者の「海外旅行離れ」は本当か？		【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・文章と統計資料の関係を的確に読み取る。 ・データのまとめ方によって、主張が変わることを理解する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・海外旅行離れについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとらえようとしている。	・観察 ・ノート ・定期考査
		【フォーカス】統計資料を活用しよう		【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)イ	・統計資料の特徴をとらえ、必要な情報を的確につかむ。 ・主張の根拠となるように、統計資料を効果的に活用する。	【知識・技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、文章と資料の関係について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート
	1	7 比べて読む	9	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)ウ	情報を比較・整理する方法について考えを深める。	【知識・技能】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、複数の情報を比較・整理しながら検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、情報の比較・整理について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・学習ノート
		【例題】「言葉の揺れ」を認めるか		【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)ウ	・情報を比較・整理しながら、異なる立場の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、複数の文章の内容を比較・整理しながら検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		紙の本はなくならない		【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ウ	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取ろうとしている。	・観察 ・定期考査 ・小テスト
		情報化と紙の本のゆくえ		【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)ウ	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・具体例の役割や根拠に注意しながら筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、情報化社会についての筆者の考えを読み取ろうとしている。	・観察 ・定期考査 ・小テスト

学期	月	単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		【フォーカス】比べて読もう	1	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)ウ	・二つの文章を比べて読み、自分の考えをもつ。	【知識・技能】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、複数の筆者の考えを比べようとしている。	・観察 ・ワークシート ・学習ノート
2 ・ 3	8	レポートを書く	10	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ア	・具体的なレポートのテーマを決め、問いを立てる。	【知識・技能】 ・レポートを書くために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、レポートを書くための具体的なテーマを決め、適切な問いを立てている。[A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを書くことに興味をもち、レポートの具体的なテーマを決め、適切な問いを立てようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		情報を収集しよう		【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(2)エ	・適切な調査方法を選び、レポートに必要な情報を集める。	【知識・技能】 ・レポートを書くために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自ら決めたテーマについて、適切な調査方法を選び、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、必要な情報を集めている。[A(2)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを書くことに興味をもち、意欲的に情報収集しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		情報を整理しよう		【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 A(2)エ	・集めた情報をレポートで使えるように整理・分類する。	【知識・技能】 ・レポートを書くために集めた情報の関係について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分のレポートの内容に応じて、適切な方法を選び、集めた情報を整理・分類している。[A(2)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを書くことに興味をもち、集めた情報を適切な方法を選んで整理しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		レポートをまとめよう		【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)エ・カ	・読者を意識し、構成や記述に配慮しながら、読みやすくわかりやすいレポートを書く。	【知識・技能】 ・レポートの効果的な組み立て方について理解している。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読者を意識し、効果的な構成や記述を工夫してレポートを書いている。[A(1)エ] ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、レイアウトやデザインについて、読みやすくわかりやすいレポートになっているかどうか吟味し、レポート全体を整えている。[A(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを書くことに興味をもち、読みやすくわかりやすいレポートをまとめることに意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

